

土み03

成果指標①

Category	Value
20	34
21	0
22 (目標)	30

成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	頒布数（本） (式)	本		目標	50	0	達成率(%)	30
					実績	34	0	#DIV/0!	
	②				目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市の木ではあるが市場性が低いため普及するためには市の関与が必要である。
		○					○	○	○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	☒ ☒ ☒ ☐ ☒ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒	☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐	市の木として市民へ普及、啓発し続ける必要がある。
分析・評価	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など) 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	受益者負担を求め適正な頒布事業を実施。生産本数の調整をしながら広報でPRし、事業を進めている。
分析・評価	有効性	上位の施策(目的)が明確である 上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	☒ ☒ ☐ ☒	☐ ☐ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	市の木として市民へ普及をはかり緑化推進を進める上で有効である。
分析・評価	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒ ☒ ☐ ☒	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☒ ☐	市の木を広く普及するため、広報などでPRしながら市民参加を得ている。
分析・評価	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☒ ☐ ☐	☐ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	頒布数が減少傾向にあり、目標値を達成していない。

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	平成20年度より頒布数が減っている。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 頒布までの育苗に課題があるが、市の木としての認識をもってもらうための方法や頒布数を増やすPR手法を検討する。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☐ 完了	評価理由・意見 現行の手法は廃止とし、他の効果的な手法を検討する。